

P-2-030

女性の就労と生活習慣

永谷 照男¹⁾、近藤 康明²⁾、日比野 稔²⁾

¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学、²⁾国際セントラルクリニック

目的 女性の就労と生活習慣の関連を示す。最終目的は子育て期女性の就労と家事が生活習慣や健康に与える相互影響評価。

対象者 「働くことと健康に関する調査研究、<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>」で同意を得た女性 4864名のうち、4条件（現病なし、妊娠なし、学生・休職者除く、欠損項目なし）をみたす 3798名。年齢：平均（SD）=38.1（6.2），範囲=19～58歳。

就労 1) 無職/非正規雇用/正規雇用、n: 624/1158/2016。2) 就労者は一日就労時間と一週就労日数から一週就労時間を算出。非正規/正規の就労時間：平均（SD）=29.9（12.2）/43.2（7.7），範囲=1.2～72/18～98 h/w。

飲酒 1) 無/有、n: 1854/1944。2) 飲酒者は一日飲酒量と一週飲酒日数から一週飲酒量を算出。飲酒者の飲酒量：平均（SD）=75.0（98.6），範囲=1.3～875 g alcohol/w。

喫煙 1) 非喫煙/既喫煙/現喫煙、n: 3013/439/346。2) 現喫煙者の喫煙本数：平均（SD）=11.5（6.0），範囲=1～30本/d。

運動 1) 無/有、n: 2429/1369。2) 運動者は一日運動時間と一週運動日数から一週運動時間を算出。運動者の運動時間：平均（SD）=133（139），範囲=5～2100 m/w。

睡眠 1) 短時間睡眠（<6 h/d）の無/有、n: 2756/1042。2) 睡眠時間：平均（SD）=6.2（1.0），範囲=2～10 h/d。

結果・考察 飲酒あり、現喫煙、短時間睡眠の頻度は「無職<非正規<正規」、運動なしは就労と関連なし（Table）。飲酒者の飲酒量は「無職<非正規≒正規」、運動者の運動時間は「無職≒非正規>正規」、睡眠時間は「無職>非正規>正規」、現喫煙者の喫煙本数は就労と関連なし。就労は不健康な生活習慣と関連し、就労時間が長い正規雇用者でその傾向が強いと考えられる。今後、健診成績や女性の特性である家庭状況などを加え解析する。

附 a) 名古屋市立大学大学院医学研究科倫理審査委員会の承認を得ている。b) 三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の助成金および文科省科研費を用いている。c) 発表当日はそれまでに得られた対象者を追加し提示する。

Table. Lifestyle factors by employment in 3798 healthy women aged 19–58 years.

就労	n	年齢 平均	lifestyle factors (%)			
			飲酒 あり	喫煙 現	運動 なし	睡眠 <6 h/d
無職	624	39.8	43.4	2.6	64.4	21.5
非正規	1158	39.7	49.8	9.5	61.6	26.7
正規	2016	36.7	54.4	10.9	65.2	29.7
trend p by MH χ^2 -test			<.001	<.001	0.326	<.001